

地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	竹富町 473812
地域名 (地域内農業集落名)	小浜地区 (小浜、細崎)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	360.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	288.3 ha
② 田の面積	52.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	235.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	18.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	52.1 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	125.7 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	109.3 ha
(備考) 採草放牧地:約71.9ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【担い手】認定農業者:22名 認定就農者:1名 基本構想水準到達者:9名
【遊休地】1号遊休農地(緑区分:4筆14,739㎡ 黄区分:102筆126,174㎡)
【所有者】70代未満:28名 70代以上:149名 法人:5経営体 不明・住登外:230名 計432名
※農地台帳参照

- ・主要作目はさとうきび。畜産業も盛んであり、近年の飼養頭数は増加傾向
- ・機械化にはなりつつも、手作業及び天水等の利用が基本
- ・高齢化に伴う人手、後継者不足及び住宅不足
- ・離島であり資材・物価・輸送費高騰等による経営の圧迫
- ・農地及び採草放牧地が点在
- ・70代以上及び未相続・不在地主の割合が多い
- ・集団的に遊休地となっている箇所がある
- ・規模拡大したい農家が多い中、直ちに利用可能な農地がない
- ・島内にはリゾートホテルやゴルフ場など観光業との兼業農家も存在
- ・鳥獣被害(カラス・クジャク)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・複合経営や耕畜連携の仕組みづくりが必要
- ・中山間地域等直接支払交付金を活用した農道清掃や堆肥づくり等
- ・スマート技術を含めた高性能農業機械の導入等による機械化及びハウス導入
- ・宿泊施設・飲食店等への要望調査・連携による地産地消の拡大及び島内循環する仕組みづくり
- ・物流コストの低減等による条件不利性の克服を推進
- ・遊休地解消事業や所有者不明農地制度を活用し、耕作者へ貸付を行う
- ・安定的な農業経営を図るため、基盤整備が必要な地区を洗い出す
- ・消費者のニーズに合った作目(果樹・野菜等)の導入を推進し、特産品として生産・加工・販売までを関係機関が一体となった積極的な支援

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
意向調査にて規模縮小の意思があった農用地については規模拡大や新規就農の意思がある耕作者に集積・集約していく。また今後検討した農用地についても、現耕作者の意向及び隣接耕作者や新規就農者への集約を行う。ただし、地域の特色もあるため地域と関係機関が連携し利用調整を行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	24 %	将来の目標とする集積率	56 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
耕作者や関係機関との利用調整に基づき地域計画の目標地図を更新し、農業を担う者に集約を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
座談会等、地域の話し合いにおいて「今後検討」とした農地についても含め検討し、集積・集約化を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
意向調査の結果にて規模縮小したいと意向のあった農地を重点的に地域で話し合い、離農者の農地を把握し農業を担う者が利用できるようにする。所有者の意向を汲み、原則機構を通じて契約していく。
(3)基盤整備事業への取組
安定的な農業経営を図るため基盤整備が必要な地区を洗い出すとともに、スマート農業の実現に向けた情報通信環境等の整備を推進する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
意向調査の結果にて規模拡大したい農家が多く、担い手の確保できてはいるが、安定的に担い手を確保するために、住宅(空家の活用検討含む)の確保、整理、賃貸制度等の構築を取組む。今後も地域と関係機関が連携を図り、説明会等開催し経営体の確保・人材育成する仕組みを継続して行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域の要望に応じ、必要であれば農業支援サービス事業者への委託を推進する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①カラス、クジャクなどの被害が多いため狩猟免許取得の推進や捕獲活動費、また機材の導入支援を行い地域密着型の捕獲体制を構築
- ②堆肥等の活用を中心とした、有機農法の支援
- ③スマート農業を取り組む支援
- ④遊休地の整備及び島内(町内)消費を含む輸送体制の確立
- ⑤高収益作物導入に向けたハウス等の整備または支援
- ⑦ i 中山間地域等直接支払交付金を活用した農道清掃や堆肥づくり等
ii 赤土等の流出防止対策を推進(グリーンベルト等)
- ⑧町の計画や既存施設の状況確認等を行い、適切に対応していく
- ⑨環境保全と持続可能な農業を目指した耕畜連携の仕組みづくり

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	サトウキビ 肉用牛	4.58 ha	ha	サトウキビ 肉用牛	7.74 ha	ha	A	
2	利用者	サトウキビ 肉用牛	0.86 ha	ha	サトウキビ 肉用牛	1.76 ha	ha	B	
3	認農	肉用牛	1.30 ha	ha	肉用牛	7.16 ha	ha	C	
4	認農	肉用牛	4.75 ha	ha	肉用牛	2.08 ha	ha	D	
5	利用者	サトウキビ	0.59 ha	ha	サトウキビ	2.77 ha	ha	E	
6	利用者	サトウキビ	3.25 ha	ha	サトウキビ	3.25 ha	ha	F	
7	到達	肉用牛	0.00 ha	ha	肉用牛	1.42 ha	ha	G	
8	認農	サトウキビ 肉用牛	7.52 ha	ha	サトウキビ 肉用牛	8.98 ha	ha	H	
9	到達	サトウキビ 水稲	1.67 ha	ha	サトウキビ 水稲	1.81 ha	ha	I	
10	認農	サトウキビ	9.74 ha	ha	サトウキビ	11.22 ha	ha	J	
11	認農	サトウキビ	2.33 ha	ha	サトウキビ	2.33 ha	ha	K	
12	認農	サトウキビ	3.19 ha	ha	サトウキビ	5.01 ha	ha	L	
13	認農	肉用牛	1.56 ha	ha	肉用牛	0.57 ha	ha	M	
14	利用者	サトウキビ バナナ	6.97 ha	ha	サトウキビ バナナ	9.17 ha	ha	N	
15	到達	サトウキビ	0.00 ha	ha	サトウキビ	0.4 ha	ha	O	
16	到達	サトウキビ 肉用牛	2.68 ha	ha	サトウキビ 肉用牛	6.69 ha	ha	P	
17	利用者	肉用牛	0.56 ha	ha	肉用牛	1.91 ha	ha	Q	
18	利用者	サトウキビ	2.13 ha	ha	サトウキビ	3.09 ha	ha	R	
19	認農	肉用牛	5.09 ha	ha	肉用牛	9.07 ha	ha	S	
20	利用者	肉用牛	1.06 ha	ha	肉用牛	2.59 ha	ha	T	
21	利用者	サトウキビ	0.00 ha	ha	サトウキビ	0.37 ha	ha	U	
22	利用者	サトウキビ	0.85 ha	ha	サトウキビ	2.29 ha	ha	V	
23	利用者	サトウキビ 肉用牛	0.43 ha	ha	サトウキビ 肉用牛	0.43 ha	ha	W	
24	認農	サトウキビ	0.88 ha	ha	サトウキビ	0.88 ha	ha	X	
25	利用者	肉用牛	0.00 ha	ha	肉用牛	2.98 ha	ha	Y	
26	認農	サトウキビ	3.25 ha	ha	サトウキビ	3.76 ha	ha	Z	
27	到達	肉用牛 サトウキビ	4.17 ha	ha	肉用牛 サトウキビ	5.06 ha	ha	AA	
28	利用者	肉用牛	0.58 ha	ha	肉用牛	1.73 ha	ha	AB	
29	認農	肉用牛	3.18 ha	ha	肉用牛	4.03 ha	ha	AC	
30	利用者	サトウキビ	0.00 ha	ha	サトウキビ	0.25 ha	ha	AD	
31	認農	サトウキビ	4.35 ha	ha	サトウキビ	6.51 ha	ha	AE	
32	利用者	肉用牛 サトウキビ	1.50 ha	ha	肉用牛 サトウキビ	2.29 ha	ha	AF	
33	利用者	サトウキビ	0.00 ha	ha	サトウキビ	3.05 ha	ha	AG	
34	利用者	サトウキビ	0.00 ha	ha	サトウキビ	0.22 ha	ha	AH	
35	認就	サトウキビ	4.37 ha	ha	サトウキビ	7.84 ha	ha	AI	
36	認農	肉用牛	5.17 ha	ha	肉用牛	9.29 ha	ha	AJ	
37	利用者	肉用牛	0.75 ha	ha	肉用牛	0.92 ha	ha	AK	
38	利用者	肉用牛	2.56 ha	ha	肉用牛	3.35 ha	ha	AL	
39			ha	ha		ha	ha		